

野村ニュージーランド債券ファンド (年2回決算型)

償還運用報告書(全体版)

第20期（償還日2024年8月13日）

作成対象期間（2024年2月14日～2024年8月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年9月10日から2024年8月13日までです。	
運用方針	ニュージーランド債券オープン マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主としてニュージーランドドル建ての公社債に投資し、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。	
主な投資対象	野村ニュージーランド債券ファンド（年2回決算型）	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ニュージーランド債券ファンド（年2回決算型）	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	騰 落 中 率			
	円 銭	円	%	%	%	百万円
16期(2022年8月12日)	11,634	10	8.1	96.6	—	61
17期(2023年2月13日)	10,939	10	△5.9	96.6	—	56
18期(2023年8月14日)	11,181	10	2.3	96.1	—	56
19期(2024年2月13日)	12,059	10	7.9	96.2	—	55
(償還時)	(償還価額)					
20期(2024年8月13日)	13,136.53	—	8.9	—	—	59

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首)	円 銭	%	%	%	%
2024年2月13日	12,059	—	96.2	—	—
2月末	12,261	1.7	97.4	—	—
3月末	12,271	1.8	97.4	—	—
4月末	12,383	2.7	96.0	—	—
5月末	12,838	6.5	97.1	—	—
6月末	13,314	10.4	98.2	—	—
7月末	13,142	9.0	—	—	—
(償還時)	(償還価額)				
2024年8月13日	13,136.53	8.9	—	—	—

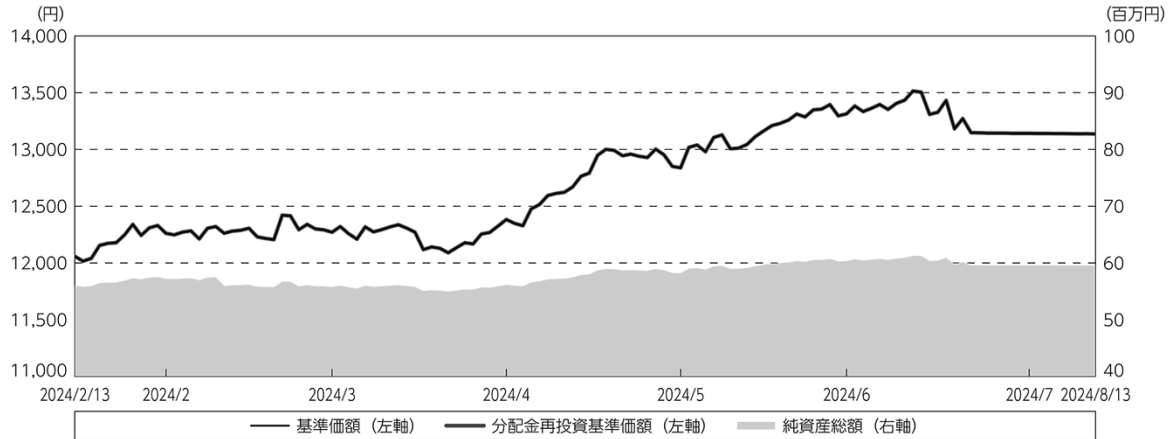
* 騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首： 12,059円

期末(償還日)：13,136円53銭 (既払分配金(税込み)：－円)

騰 落 率： 8.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年2月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

- (上昇要因)
- ・債券保有による利息収入を得られたこと。
 - ・ニュージーランド国債の利回りが低下(価格は上昇)したこと。
 - ・マザーファンドの繰上償還に向けて保有銘柄の売却を行なうまでの期間に、ニュージーランドドルが対円で上昇(円安)したこと。

○投資環境

ニュージーランドドルについては、日銀が3月の金融政策決定会合でマイナス金利を解除したものの、当面は緩和的な金融環境が継続する見方を示唆した一方で、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が金融政策について引き締め傾向を継続する見方を示したことなどから、7月にかけて対円で上昇しました。その後は、ニュージーランドの4-6月期CPI（消費者物価指数）の前年比伸び率が市場予想を下回り、年内の利下げ観測が高まったことなどを受けて、ニュージーランドドルは対円で下落（円高）し、当作成期首からみると、ニュージーランドドルは対円で下落しました。

債券については、RBNZが政策金利を景気抑制的な水準に長期間維持する必要があるとの見方を示したことなどから、4月にかけてニュージーランド国債の利回りは上昇（価格は下落）しました。その後は、ニュージーランドの1-3月期の雇用者数変化が市場予想を下回る内容だったことや、4-6月期CPIの前年比伸び率が市場予想を下回り、年内の利下げ観測が高まったことなどを受けてニュージーランド国債の利回りは低下し、当作成期首からみるとニュージーランド国債の利回りは低下しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ニュージーランド債券オープン マザーファンド]

繰上償還に向けて保有銘柄の売却を行ない、外貨建資産については円転を行ないました。保有銘柄の売却まで、当ファンドのポートフォリオは以下の通りとしました。

<ファンドデュレーション>

RBNZが政策金利を据え置くなか、デュレーション^(※)を前作成期末から長期化しました。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債、地方債を中心としたポートフォリオとしました。

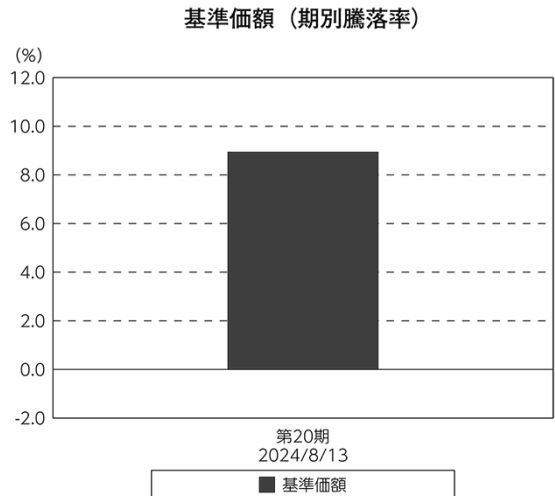
[野村ニュージーランド債券ファンド（年2回決算型）]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

償還のため分配は行ないませんでした。

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時13,136.53円となりました。設定来お支払いした分配金は1万口当たり170円になりました。

第1期～第20期

- (上昇要因) ・ ニュージーランドドルが対円で上昇したこと。
 ・ 債券保有による利息収入を得られたこと。
 (下落要因) ・ ニュージーランド国債の利回りが上昇したこと。

ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年2月14日～2024年8月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 72	% 0.563	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(35)	(0.273)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(35)	(0.273)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	73	0.571	
期中の平均基準価額は、12,701円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

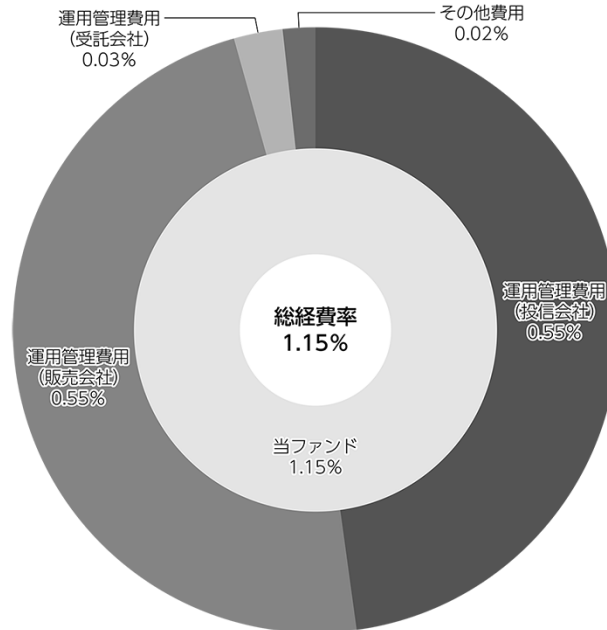
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月14日～2024年8月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千口 287	千円 400	千口 41,800	千円 61,453

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月14日～2024年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月13日現在)

2024年8月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	
	口 数	金 額
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千口 41,512	

*単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年8月13日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 59,887	% 100.0
投資信託財産総額	59,887	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2024年8月13日現在）

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	59,887,756	
コール・ローン等	59,887,368	
未収利息	388	
(B) 負債	328,830	
未払解約金	20	
未払信託報酬	328,234	
その他未払費用	576	
(C) 純資産総額(A-B)	59,558,926	
元本	45,338,400	
償還差益金	14,220,526	
(D) 受益権総口数	45,338,400口	
1万口当たり償還価額(C/D)	13,136円53銭	

(注) 期首元本額は46,426,393円、期中追加設定元本額は291,076円、期中一部解約元本額は1,379,069円、1口当たり純資産額は1.313653円です。

○損益の状況（2024年2月14日～2024年8月13日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	459	
受取利息	459	
(B) 有価証券売買損益	5,204,862	
売買益	5,244,511	
売買損	△ 39,649	
(C) 信託報酬等	△ 328,810	
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,876,511	
(E) 前期繰越損益金	6,453,286	
(F) 追加信託差損益金	2,890,729	
(配当等相当額)	(5,470,798)	
(売買損益相当額)	(△ 2,580,069)	
償還差益金(D+E+F)	14,220,526	

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年9月10日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年8月13日			資産総額	59,887,756円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	328,830円	
受益権口数	56,848,540口	45,338,400口	△11,510,140口	純資産総額	59,558,926円	
元本額	56,848,540円	45,338,400円	△11,510,140円	受益権口数	45,338,400口	
				1万円当たり償還金	13,136円53銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	449,122,301円	482,335,239円	10,740円	10円	0.1%	
第2期	342,825,190	354,719,676	10,347	10	0.1	
第3期	143,951,444	139,420,996	9,685	0	0.0	
第4期	124,732,224	123,724,167	9,919	0	0.0	
第5期	107,816,219	115,657,145	10,727	10	0.1	
第6期	97,935,288	106,249,510	10,849	10	0.1	
第7期	82,235,675	88,198,434	10,725	10	0.1	
第8期	68,097,340	69,600,923	10,221	10	0.1	
第9期	64,583,524	69,205,022	10,716	10	0.1	
第10期	56,969,334	59,187,640	10,389	10	0.1	
第11期	57,366,090	61,402,370	10,704	10	0.1	
第12期	55,274,601	61,467,422	11,120	10	0.1	
第13期	55,773,512	65,104,628	11,673	10	0.1	
第14期	52,418,832	60,689,451	11,578	10	0.1	
第15期	52,364,579	56,396,878	10,770	10	0.1	
第16期	52,867,885	61,505,491	11,634	10	0.1	
第17期	51,311,767	56,130,069	10,939	10	0.1	
第18期	50,659,348	56,644,321	11,181	10	0.1	
第19期	46,426,393	55,984,612	12,059	10	0.1	

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	13,136円53銭
----------------	------------

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2024年7月4日＞

ニュージーランド債券オープン マザーファンド

償還運用報告書

第11期（償還日2024年8月9日）

作成対象期間（2024年2月14日～2024年8月9日）

受益者のみなさまへ

ニュージーランド債券オープン マザーファンドの設定日以降、償還までの運用状況をご報告申し上げます。
ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。 投資する公社債は、原則として、投資時点においてBBB-格相当以上の格付け（投資適格格付け）を有する公社債、または同等の信用度を有すると判断される公社債とします。
主な投資対象	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率			
7期(2021年2月12日)	円 銭 12,500		% 10.5	% 97.5	% —	百万円 2,215
8期(2022年2月14日)	11,689		△ 6.5	97.2	—	1,754
9期(2023年2月13日)	12,034		3.0	96.9	—	1,435
10期(2024年2月13日)	13,444		11.7	96.5	—	1,280
(償還時) 11期(2024年8月9日)	(償還価額) 14,732.68		9.6	—	—	1,209

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

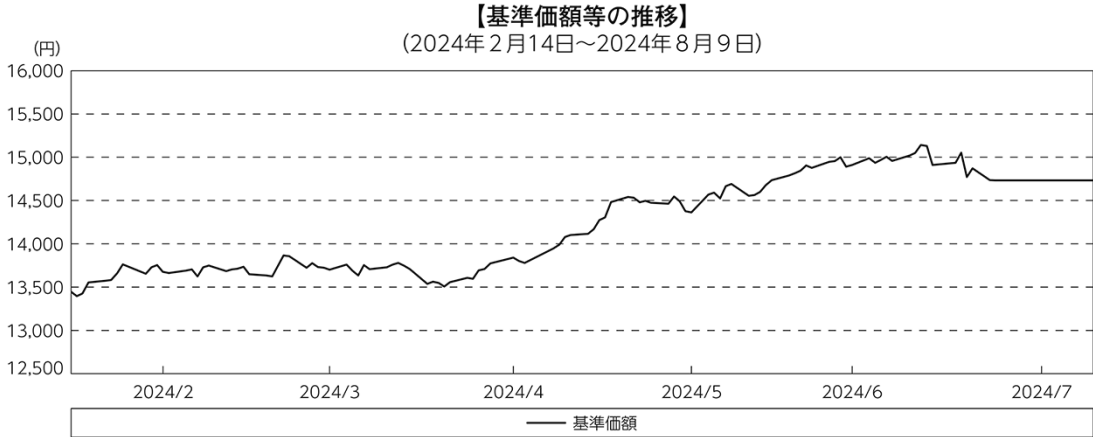
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率			
(期 首) 2024年2月13日	円 銭 13,444		% —	% 96.5	% —	% —
2月末	13,677		1.7	97.6	—	—
3月末	13,700		1.9	97.8	—	—
4月末	13,839		2.9	96.2	—	—
5月末	14,363		6.8	97.3	—	—
6月末	14,911		10.9	98.5	—	—
7月末	14,732		9.6	—	—	—
(償還時) 2024年8月9日	(償還価額) 14,732.68		9.6	—	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・債券保有による利息収入を得られたこと。
- ・ニュージーランド国債の利回りが低下（価格は上昇）したこと。
- ・繰上償還に向けて保有銘柄の売却を行なうまでの期間に、ニュージーランドドルが対円で上昇（円安）したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

繰上償還に向けて保有銘柄の売却を行ない、外貨建資産については円転を行ないました。保有銘柄の売却まで、当ファンドのポートフォリオは以下の通りとしました。

<ファンドデュレーション>

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が金融政策決定会合で政策金利を据え置くなか、デュレーション^(※)を前作成期末から長期化しました。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

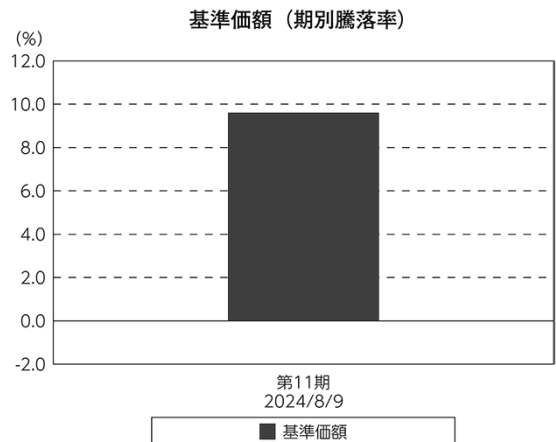
<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債、地方債を中心としたポートフォリオとしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時14,732.68円となりました。

第1期～第11期

(上昇要因)

- ・ ニュージーランドドルが対円で上昇したこと。
- ・ 債券保有による利息収入を得られたこと。

(下落要因)

- ・ ニュージーランド国債の利回りが上昇したこと。

ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 2月14日～2024年 8月 9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、14,203円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2024年 2月14日～2024年 8月 9日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	国債証券	1,114	4,668
		地方債証券	—	7,330
		特殊債券	—	2,537 (700)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2024年 2月14日～2024年 8月 9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 組入資産の明細

(2024年 8月 9日現在)

2024年 8月 9日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2024年8月9日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,209,408	% 100.0
投資信託財産総額	1,209,408	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年8月9日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,209,408,926
コール・ローン等	1,209,377,388
未収利息	31,538
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	1,209,408,926
元本	820,902,296
償還差益金	388,506,630
(D) 受益権総口数	820,902,296口
1万口当たり償還価額(C/D)	14,732円68銭

(注) 期首元本額は952,493,543円、期中追加設定元本額は4,228,534円、期中一部解約元本額は135,819,781円、1口当たり純資産額は1.473268円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月分配型) 356,093,711円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(年2回決算型) 159,305,020円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月分配型) 115,947,270円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型) 79,018,055円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(年2回決算型) 70,183,343円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型) 40,354,897円

○損益の状況 (2024年2月14日~2024年8月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	16,123,178
受取利息	16,123,296
支払利息	△ 118
(B) 有価証券売買損益	100,946,827
売買益	101,545,781
売買損	△ 598,954
(C) 保管費用等	△ 151,312
(D) 当期損益金(A+B+C)	116,918,693
(E) 前期繰越損益金	328,046,690
(F) 追加信託差損益金	1,621,466
(G) 解約差損益金	△ 58,080,219
償還差益金(D+E+F+G)	388,506,630

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2024年7月4日>